

## (4) 教頭部会

会 長 岩井 崇通（西土佐中学校）  
事務局 威能 英明（中筋小学校）

### 1. 研究主題 「小中連携をどう進めるか ～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」

### 2. 研究経過

月・日	研究のあらまし	会 場	備考
4/5 (水)	★定期総会及び第1回中央区小・中学校教頭会研修会 「役員選出・組織づくり等」	四万十市立文化センター	全会員
5/8 (月)	★第2回中央区小・中学校教頭会研修会 「テーマに係る研究体制、研究方法について」 「2023 幡多地区教頭会研究大会について」等	防災センター	全会員
5/15 (月)	幡多地区小・中学校教頭会総会・研修会	四万十市立武道館	全会員
5/26 (金)	令和5年度高知県小・中学校教頭会総会・研修会	高知会館	役員等
6/23 (金)	★第3回中央区小・中学校教頭会研修会 「県研究大会にむけて（レポート内容の確認）」 「各学校の働き方改革の現状と課題」	防災センター	全会員
7/27 (木)	★第4回中央区小・中学校教頭会研修会 講話「働き方改革について」 講師 四万十市事務支援室 芝 恵 総括主任 事務職部会と共同開催	防災センター	全会員
8/3(木)・4(金)	第65回全国公立学校教頭会研究大会	石川県	代表者
8/25 (金)	第5回中央区小・中学校教頭会研修会	日産サテリオ	全会員
10/10 (金)	幡多地区小・中学校教頭会研究大会（宿毛大会）	宿毛市	全会員
10/27 (金)	第49回高知県小・中学校教頭会研究大会	高知会館	代表者
11/22 (水)	第41回四国教頭会研究大会 ※リモート開催	徳島県	代表者
12/15 (金)	★第6回中央区小・中学校教頭会研修会	防災センター	全会員
2/1 (木)	★第7回中央区小・中学校教頭会研修会 「今年度の総括と来年度の方向性」	教育研究所	全会員

### 3. 研修活動

#### (1) 研究テーマに係る研修

今年度も「小中連携をどう進めるか～子どもたちの学びと育ちの保障をめざして～」をテーマとし研究を進めてきた。

#### (2) 研修内容

##### ①四万十市学校事務支援室 芝 恵 総括主任の講話

総括主任から、勤務時間の現状、「tetoru」の活用、ペーパーレス化等について、具体的な事例を挙げながら講話をしていただいた。このときの会は、事務職部会との共同開催であり、各校の事務職と教頭がグループとなり、各校の様々な取組を知ることができ、今後の「働き方改革」につなげることができる内容になったのではないかと考える。また、協議した内容を当日参加できなかったかたにも送ることができた。今後は、中央区（四万十市・三原村）以外でも先進的な取組をしている市町村があることを踏まえ、幡多地域全体でも進めていくことが必要である。

##### ②市立中村中学校中川智之教頭先生の発表・協議

発表を中央区教頭会で確認し、客観的な視点で意見をいただいたことは、発表者としても大変参考になった。発表者になると普段の業務＋発表となってしまう、多忙感は否めない。今回は、中川教頭先生に任せきりとなっていたため、来年度以降は、発表が小学校と中学校の2つとなるが、チームで作り上げる発表にし、この会で協議しながら作り上げる形をとっていききたい。

##### ③情報交換

教頭1年目として、どんなことをしていけばいいのかわからない者もいる中、聞きたいことを事前に出していただき、グループでの協議につなげていったことは成果だと考える。今後も中央区の中にはなってしまうが、他校の取組について情報交換を密にしながら、職務の遂行につなげていきたい。

### 4. 今年度の成果（○）と課題（●）

- 会の内容を精選し、情報交換を毎回設定することで自校の取組の参考になっている。
- 教頭の中には学級担任や授業を受け持つことが多く、また時間的制約等のため参加が難しいという現状がある。今後、参加者数を増やすためには、リモートも視野に入れて会を行う。
- 昨年ほど、講師を招聘した場を設定できなかった。計画的な研修会を行うためには、年度当初から大まかな案を提示できるようにしていかななくてはならない。

### 5. 来年度に向けて

- ・来年度は、郡の研究大会及び全国大会（高知大会）も控えている。中央区の教頭がチームとなり、より一層連携しながら、本会を進めていく必要がある。